

福井太一

えがお夢 県政レポート

Vol. 07 2025.2



笑顔あふれるふるさとに

福井太一事務所 北杜市武川町宮脇 2162-1 TEL&FAX 0551-26-3755

プロフィール

1976年(昭和51年)3月1日生まれ
武川村生まれ 武川村育ち
山梨県立韮崎高等学校卒業
横浜国立大学教育学部卒業

1995年 山梨県スポーツ少年団 リーダー会会長
1998年 小淵沢町立小淵沢小学校で教職に就く
2000年 上野原町立柵原小学校に勤務
2005年 長坂町立小泉小学校に勤務
2013年 北杜市立泉小小学校に勤務
2021年 山教組執行委員長/連合山梨副会長
2023年 山梨県公立学校職員を退職

2023年 山梨県議会議員に初当選
土木森林環境委員、指定管理施設・出資法人調査特別委員、
やまなし子どもの貧困対策推進政策提言案作成委員
予算特別委員会、山梨県韮崎高等学校PTA副会長(現)
2024年 総務委員会所属
多様な学びの場の提供に関する政策提言案作成委員
予算特別委員

所信

2025年は、戦後80年の節目を、平和と核兵器について深く考える契機と捉え、日本被団協がノーベル平和賞を受賞した際に述べた「核と人類は共存できない」という言葉を重く受け止め、子どもたちに平和のパスポートを手渡す一年としたいと考えます。

また、山梨県は教育の分野において先進的な取り組みを進めており、特に長崎知事が小学校全学年での25人学級導入を目指す方針を示したことは、日本の教育界に大きな影響を与えました。教員不足が全国的な問題となる中、全国の志願者・学生にも推奨される教育環境が整っています。

一方で、北杜市では少子化の進行や不登校の増加、広域にわたる通学環境の課題が浮き彫りになっています。中学校の統廃が予定される中で、子どもたちの学びの場をどのように守り、地域とともに支えていくかが重要な課題です。少人数教育の推進とともに、地域性に応じた教育施策を充実させる必要があります。

また、北杜市は豊かな自然と観光資源に恵まれた地域ですが、一方で、医療・福祉の確保や地域交通の維持、農林業の担い手不足といった課題も深刻です。特に、高齢化が進む中で、買い物や通院の利便性を確保するための移動手段の整備が求められています。地域公共交通の維持・強化や、デジタル技術を活用した地域医療の充実を図ることで、住民が安心して暮らせる環境を整えていかなければなりません。

加えて、北杜市の農業は山梨県内でも重要な役割を担っていますが、担い手不足や気候変動の影響により、生産活動の継続が難しくなっている現状があります。県としても、農業の魅力を高め、若い世代が参入しやすい環境を整備するための支援策を充実させる必要があります。

さらに、北杜市の玄関口である小淵沢エリアは、交通の要衝であり、観光拠点としても重要な役割を果たしています。間もなく策定される「小淵沢エリア振興ビジョン」のもと、観光資源のさらなる活用や、地域の魅力を高める施策を推進することが求められています。鉄道・高速道路の結節点としてのポテンシャルを活かし、滞在型観光の促進や、地元産業との連携強化を図ることで、地域経済の活性化を進めていきます。

今後も、北杜市をはじめ県内各地の課題に向き合いながら、県民の皆様とともに笑顔あふれるふるさとの実現を目指してまいります。

山梨県議会議員

福井太一



令和6年12月定例会一般質問



福井太一の一般質問の様子がご覧いただけます。

県道横手日野春停車場線の道路整備について

問 福井: 日野春隧道とその前後にはセンターラインがなく、自動車同士のすれ違いが困難となっている。道路事業を進めていることは承知しているが、一刻も早い工事に着手していただきたい。日野春隧道付近の道路整備について、工事に伴う道路利用者への影響も含め、現状と今後の計画を教えてください。

答 県土整備部長: 老朽化した隧道を撤去し、2車線道路の整備に着手します。通行止めに伴う影響を情報提供で周知し、安全確保を図りながら早期完成を目指します。



令和7年5月7日から12月26日まで全面通行止め(要迂回) 遊歩道についても通行止めになります

クマに関する情報発信の強化について

問 福井: 県内のクマ目撃情報が増加している。これからは一年を通じてクマと遭遇する可能性があり、人身被害を未然に防ぐためには、地域住民や観光客など一人ひとりがクマとの遭遇を避ける、減らしていく行動をとることが肝要である。県として迅速な情報発信やクマ対策について迅速な発信、より分かりやすい情報提供をどのように取り組んでいるのか、具体的な対応を伺いたい。

答 環境・エネルギー部長: 「X」や出没マップを導入し、目撃情報の迅速な共有を強化しています。市町村や観光団体との連携を深め、住民や観光客への啓発を進め、人身被害防止を目指します。



迅速かつよりわかりやすい情報提供を!

峡北地域の水稲の生産振興について

問 福井: 標高の低い地域を中心に、高温の影響を受けて品質の低下がみられた。峡北地域での水稲振興のため、高温耐性品種「にじのきらめき」の買取価格に関してや、認知に向けた普及を含む今後の取り組みについてお聞かせいただきたい。

答 知事: コシヒカリや農林48号などについては、今後も適切な栽培管理を徹底することにより、高い品質を維持できるように支援していきます。また、「にじのきらめき」を中心に高品質米の栽培拡大を支援します。JAや市町村と連携して広報活動を進め、地域ブランド米の強化に努めます。



ブランド米“農林48号”の強化と“にじのきらめき”の普及を!

青少年の国際交流の深化について

問 福井: 本県の青少年国際交流は活発だが、さらなる深化が求められている。具体的には、現地の課題を調査し解決策を提案するプロジェクトや、SDGs関連プロジェクトへの参加など、生徒が主体的に活動するプログラムが必要である。また、国際感覚豊かな教職員を育成するため、県独自の海外研修制度の創設を求める。県の具体的な方針を伺いたい。

答 教育長: 国際交流は文化や考え方の違いを尊重する体験が重要です。県では教員を国際交流団体の活動に派遣し、体験を通じた学びを推進しています。この知見を蓄積し県の国際交流事業に活用します。海外研修や在外教育施設派遣も支援しグローバルな視点を持つ教員の育成を図ります。

県独自の海外研修制度の導入を!

盛土規制法の施行に伴う方針について

問 福井: 盛土規制法が施行されたが、これまで以上に県民の安全・安心な生活を守るため、県として規制開始に向けた具体的な準備や既存盛土への対応を含めた効果的な運用について教えてください。

答 知事: 全県を規制区域とする案を公表し、調査結果を基に令和7年4月から規制開始を目指します。周知活動や既存盛土の安全性確認を進め、安全確保と災害防止のために適切な制度運用を図ります。



早期規制開始と効果的な運用を!

空き家活用ビジネスについて

問 福井: 空き家率は20.4%で25年ぶりに全国ワーストワンから脱却した。県が市町村とともに取り組んできた対策の成果であると考え。様々な相乗効果が期待される空き家活用ビジネスの現状や課題、今後の取り組みについて教えていただきたい。

答 知事: 空き家を宿泊施設や交流スペースに活用する事業を支援し、多様な用途で地域活性化を推進しています。事例集やSNSを通じて成功例を広く発信し、さらなる普及を目指します。



地域のコミュニティの活性化や賑わいの創出にも期待!

教育環境のさらなる充実について

問 福井: 少人数教育の推進について
教員確保のさらなる推進のため、短時間勤務の柔軟化も不可欠である。より細やかな勤務時間の選択、多様なニーズへの対応が人材確保につながる。また校長の裁量で勤務時間を柔軟に設定できれば、多忙解消にも貢献できる。少人数教育の拡大と教員不足への対応策についてお答えいただきたい。

答 知事: 教員不足に対応しつつ、柔軟な学級編制を実施します。加配教員の活用や勤務形態の見直しを進め、来年度の5年生に拡大する25人学級実施に向け準備を進めます。

問 福井: 働き方改革取組方針の改定に向けた進捗状況について
時間外労働月80時間を超える教員をゼロにすることはできなかった。部活動の地域展開、学習指導要領の削減が今後のカギを握る。現在集計・分析中の調査を含む検証結果を次期取組方針にどのように反映していくのか聞かせていただきたい。

答 教育長: 調査結果を基に次期方針を年度末に策定します。教員が主体的に改革を進める意識を醸成します。

問 福井: 公立小中学校で働く専門職種の課題について
事務職員に関して、すべての室長を事務幹以上とすることで、より行動な事務処理能力とリーダーシップが求められる業務に対応できる。県の所見を伺いたい。
栄養教職員に関して、複数の学校や給食室を兼務したり、学級数の増加に伴い負担が増加したりしている。増員が不可欠であり、県独自の加配が必要であるが、現時点での具体的な計画や見通しを伺いたい。

答 教育長: 事務職員に対しては、事務幹への承認の意向を確認したうえで、地域の実情を踏まえ適切な配置に努めてまいります。栄養教諭の配置に関しては6校に加配をしているところであります。引き続き国に対する定数改善を働きかけていきます。

教育で選ばれる“教育立県やまなし”を目指して!

ドローンによる自殺防止対策と観光地のイメージアップについて

問 福井: 青木ヶ原樹海での自殺防止策としてドローン巡回が開始されている。この効果や課題、今後の展望について伺いたい。また、樹海の持つ負のイメージを払拭し、豊かな自然を活用した観光地としての魅力を高めるための取り組みについてもお答えいただきたい。

答 知事: ドローン巡回による捜索は成功例もあり、メディア報道を通じた抑止効果が確認されています。樹海の魅力を発信する取り組みを進め、自然環境を生かした観光地化を推進していきます。精進口登山道の再整備や地域振興施策を通じ、新たな魅力創出に努めます。

長期的な視野に立った自殺防止対策の一環としてドローンの巡回を!

教職員の休暇制度の拡充について

問 福井: 子の看護休暇の対象を孫まで拡大することで負担軽減と働きやすい環境の整備につながる。教職員の休暇制度拡充についてお聞かせください。

答 教育長: 学校行事参加休暇について18歳まで対象を広げたこととあります。子の感が休暇については対象となる範囲や年齢、取得日数などについて、検討しているところです。

教職員のウェルビーイングの実現を!

インターネット上の違法・有害情報等に対する対策について

問 福井: 県警察ではサイバーパトロールを実施しているが、その現状と取り組みを伺いたい。

答 警察本部長: 山梨県警察は、サイバー空間の安全確保のため、サイバーパトロールを実施しています。ウェブサイトや電子掲示板などを閲覧し、違法・有害情報を把握することに重点を置いています。特に、いわゆる「闇バイト」と呼ばれる実行犯の募集情報に対しては、投稿者への警告と同時に、応募しようとしている人への注意喚起も行っています。昨年10月から今年11月末までの間に2,680件の警告を実施した結果、全ての投稿が削除されるという成果を上げています。今後も県民のサイバー空間における安全・安心の確保に努めていく方針です。

県警察の取組に大いに期待!

活動の様子



11月12日
都道府県議会議員研究交流大会に参加。同じ教員出身の小西ひろのり兵庫県議とともに日本の課題について意見交換。



11月17日
県民の日記念イベントにて北杜市の魅力をアピール。



11月23日
やまなしパープルリボンプロジェクト関連事業
NHKディレクター村山世奈さん・二階堂はるかさんの講演を拝聴



12月8日
第17回 北の杜ふるさとウォーキングにてスターターを。市内外から500人以上の参加者。



12月17日
北杜市内の小学5年生が議場見学に。議員の仕事や議会の仕組みについて説明。



12月28日
北杜市未来創造オープンカレッジに参加。講師の工藤公康さんと記念撮影。



1月12日
北杜市消防団出初式。消防団は私たちの暮らしを守るために必要不可欠。持続可能な消防団活動を。



1月13日
北杜市アニメーツリズム協議会主催の恵庭稚生誕祭に参加。県内外から多くの方が集まる活気あるイベント。



1月15日
NXアグリグロウを視察。AIを活用した農業に今後も期待。



1月24日
総務委員会で旭陽電機株式会社を視察。働く環境と社員の充実感、ウェルビーイングのために様々な事業が展開。「人」を大切にする企業理念に感銘。

日常的な活動はSNSで常時発信しています。県政への率直なご意見お聞かせください!!



福井太一事務所

北杜市武川町宮脇 2162-1
TEL&FAX 0551-26-3755